

2017年度  
明星学苑事業報告書（抜粋）

（2017年4月1日から2018年3月31日まで）

学校法人明星学苑

2018年5月

## 2017年度 明星学苑事業報告書

### 目 次

理事長あいさつ	1
I. 法人の概要	2
建学の精神・教育方針・校訓・明星学苑がこれからも変わらず目指すもの	2
各校の教育目標	2
各校の教育内容と教育方法	2
沿革 (省略)	
設置校及び所在地 (省略)	
役員の概要 (省略)	
評議員の概要 (省略)	
学生数・生徒数 (省略)	
教職員数の推移 (省略)	
組織概要 (省略)	
II. 事業の概要	4
平成29年度事業基本方針と進捗状況	
法人 (省略)	
明星大学	4
府中校(明星中学校・高等学校、明星小学校、明星幼稚園) (省略)	
卒業生の進路・就職状況	14
III. 財務の概要 (省略)	
平成29年度決算について (省略)	
経年推移比較 (省略)	
財務比率 (省略)	
学校法人の会計について (省略)	
別添資料	
1. 学生生徒等在籍者数 (省略)	2. 資金収支計算書 (省略)
3. 活動区分資金収支計算書 (省略)	4. 事業活動収支計算書 (省略)
5. 貸借対照表 (省略)	6. 財産目録 (省略)
7. 監査報告書 (省略)	

「グローバル時代と明星教育」

理事長 吉田 元一

明星学苑の建学の精神は、「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」であります。今から 80 年以上前につくったこの建学の精神は、まさに私たちが現在直面するグローバル時代を見越した洞察であったと思います。今の社会は好むと好まざるにかかわらず、ますます競争が厳しくなるグローバル化の中で、私たちはより豊かな社会を実現していかなければなりません。

本学苑は、95 年の歴史の中で、様々なステークホルダーに支えられながら、10 万人を超える卒業生を輩出してきました。時代は変わり、日本の教育は今、大きな転換期を迎えています。文部科学省が進める「第 3 期教育振興基本計画」では、人口減少や少子高齢化をはじめ、急速な技術革新、グローバル化が進展する社会の現状や、2030 年以降の超スマート社会 ( Society5.0 ) を展望した教育施策が審議されています。学苑としても、多様性が社会の変革と進歩を促すこと、柔軟な対応と発想力が求められていることを常に念頭に置いて、学生・生徒等が生きる 2050 年、2100 年の予測不能な社会を生き抜くための能力を育成する教育活動を行わなければなりません。この不確実性を増す社会の変化の中、現在学んでいる園児・児童・生徒・学生が将来つく職業の在り方も、ドラスティックに変わります。しかし、どのような変化が来ようと、生き抜く力を養い、目に見える学力も目に見えない学力も身につけられる学校として、グローバル時代の活躍力をもつ人材を育成していきます。

2017 年度は中期経営計画を策定し、目まぐるしく変化を遂げる社会において、多様な価値観と共存し、自らの力で人生と未来を切り拓いていける学生・生徒等を育成するための教育機関であり続けたいという理念と地域や社会との連携を強固にするという決意を含め、建学の精神の今日的解釈を織り込んでいます。

さらに 2023 年に 100 周年を迎えます。これは私達にとって一つの節目ではありますが、この節目で最も重要なことは、明星学苑がさらにその後の 100 年存続でき社会に貢献できる人材を育てる学校になることです。グローバル化時代のリーダーを育成すると同時に、地域に根ざした学校として、進学面でも就職面でも多摩地域でナンバーワンの私学を目指します。

## I. 法人の概要

●建学の精神・教育方針・校訓・明星学苑がこれからも変わらず目指すもの●

### <建学の精神>

「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」

#### 【教育方針】

1. 人格接触による手塩にかける教育
2. 凝念を通じて心の力を鍛える教育
3. 実践躬行の体験教育

#### 【校訓】

健康、真面目、努力

#### 《明星学苑がこれからも変わらず目指すもの》

明星学苑は、建学の精神である「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」ことをもって社会に寄与することをその使命とする。

そのために、学苑が設置する学校は、校訓「健康、真面目、努力」を旨とし、一人ひとりの学生・生徒・児童・園児を大切にして徳育・知育・体育の調和を目指す「人格接触による手塩にかける」教育を行い、着実に教育の成果を上げることに努める。

#### ●各校の教育目標●

明星大学

自己実現を目指し社会貢献ができる人の育成

明星中学校・高等学校

自律心を持った自立した人の育成

明星小学校

正直なよい子の育成

明星幼稚園

よい子の育成

#### ●各校の教育内容と教育方法●

明星大学

- 現代社会に生きるものとして必要不可欠な基本的知識と技能の習得
- 幅広い教養を身につけた自立する市民の育成
- 心と体の健康管理の教育
- 高度専門職業人及び幅広い職業人の育成
- 体験教育を通して生涯に亘る学習意欲を獲得し、自らの歴史を綴ることができるようにする教育

<p>明星中学校・高等学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●凝念教育</li> <li>●3ステージ制による6カ年一貫教育</li> <li>●文化等の違いを体験し、国際理解を深める教育</li> <li>●地域社会との連携による教育（ボランティア活動等の体験教育）</li> <li>●学苑設置校（幼・小・大）との連携とIT教育</li> </ul>
<p>明星小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●凝念教育</li> <li>●五正道（正しく視る、正しく聴く、正しく考える、正しく言う、正しく行う）の実践</li> <li>●豊かな心を育てる教育（心の教育、道徳・躰、体験学習、きめ細かな生活指導等）</li> <li>●確かな学力をつける教育（授業の充実、きめ細かな学習指導等）</li> </ul>
<p>明星幼稚園</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「みなしずか」（凝念）の実践</li> <li>●一人ひとりを大切にした保育</li> <li>●体験を通して学ぶ</li> <li>●年齢に応じた基本的な生活習慣の確立</li> <li>●総合学園の特色を生かした保育</li> </ul>

※“凝念”とは、静座して目を閉じ、雑念を取り払い無念無想の境地に身を置くこと。

## Ⅱ. 事業の概要

### ●平成 29 年度事業基本方針と進捗状況●

#### 明星大学

##### 1. 基本方針

明星大学は、設置者である学苑の建学の精神に基づき「自己実現を目指し、社会貢献ができる人の育成」を教育目標とし、「教育の明星大学～実践躬行の精神を身につけ、社会で活躍し、未来を拓く学生を育てる～」をヴィジョンとして掲げ、学苑の高等教育機関として学部学科においては学士力の獲得、大学院においては高度専門職業人や研究者の養成を柱に、以下の教育方針に基づき教育研究活動を展開しています。

〈 明星大学の教育方針 〉

- 現代社会に生きるものとして必要不可欠な基本的知識と技能の習得
- 幅広い教養を身につけた自立する市民の育成
- 心と体の健康管理の教育
- 高度専門職業人及び幅広い職業人の育成
- 体験教育を通して生涯に亘る学習意欲を獲得し、自らの歴史を綴ることができるようにする教育

平成 29 年度の事業展開にあたっては、本学の教育研究活動を通して本学が永続的に存続できる基盤を確立していくために達成すべきロードマップを策定し、それに向けての活動を行いました。活動のベースとなるのは、平成 22 年度から全学展開している MI21 プロジェクト (Meisei Innovation for the 21st Century) 活動※に基づくものです。

※ MI21 プロジェクトは、本学のヴィジョンとそれを達成するための中期・単年度事業計画及び点検・評価活動に定めた施策の着実な推進を目的として設置された、学長をリーダーとする教職協働による全学的な取り組みです。このプロジェクトでは、改善活動の活性化や問題意識の共有を図り、各事業計画の具体的な成果目標を定め、PDCA サイクルを回しながら事業を展開しています。

当初のこの取り組みは、平成 24 年度の文部科学省補助金事業「未来経営戦略推進経費（経営基盤強化に貢献する先進的な取り組み）」に採択されました。

ロードマップに掲げる目標の現時点での達成状況（平成 29 年度末）は、次のとおりです。

※括弧内の数値は、第 1 期（平成 29 年度～平成 34 年度）中期事業計画における最終年度の目標値を示しています。

##### (1) 進路決定率（目標：95%以上）

プロジェクトで行う有力企業対策、各種セミナーやイベントによる就業意識の醸成、多摩地区にある企業等との連携強化、上場企業を始めとする各種業種・業界別就職ガイ

ダンス・講座などの支援体制を一層強化した結果、進路決定率は全学で 84.6%から 86.5%に、また就職率も 79.7%から 82.4%へと平成 28 年度より高い結果を得ることができました。

### (2) 公立学校教員採用試験合格者数 (目標 : 130 人以上)

全学的な教職課程の管理・運営を統括する教職センターにおいて、教員採用試験に向けた各種対策講座や少人数・個別指導をより一層充実させた結果、公立学校教員採用試験においては、前年度に引き続き安定した合格者数として、84 人の実績を残すことができました。

### (3) 離籍率 (目標 : 3.5%未満) :

GPA 制度や「学生カルテ」、学力アセスメントの結果等の積極的な活用による個別指導の強化や学生生活全般 (学習面、経済面、精神面) への支援体制を一層充実させたことにより、離籍率は平成 28 年度の 4.9%から 4.1%へと改善が図られました。

### (4) 志願者数 (目標 : 18,500 人以上)

オープンキャンパスの充実、高校ガイダンスへの積極参加による受験生や進路担当者との接触機会の拡大、新たな入試制度の導入等により、一般入試及びセンター利用入試の志願者数は、平成 28 年度の 16,917 人※から 19,851 人へと増加しました。

※ スカラシップ制度含みます。

### (5) 経常収支差額 (目標 : 100 百万円)

平成 29 年度は、大学全体として支出の抑制に努めたものの、学生生徒納付金及び経常費等補助金の減少、人件費及び施設設備の修繕に係る教育研究経費の支出が増加した結果、平成 29 年度決算の経常収支差額は平成 28 年度の 104 百万円から△138 百万円になりました。

【上記ロードマップ達成状況の経年推移は、18～20 ページの「明星大学ロードマップ平成 25 年度～平成 29 年度 経年推移表」を参照】

## 2. 事業計画

平成 26 年に開学 50 周年を迎えた明星大学は、引き続き高等教育機関としての教育、研究及び社会貢献に係る諸事業を推進することで、開学 100 周年に向けた発展の基盤を整備しています。

本学は、社会的認知度の向上及び大学のブランドを確立するため、「教育の明星大学」をメインコピーとし、積極的な広報活動を展開しています。平成 29 年度は、明星大学を

より多くの人々に知ってもらうためのツールとして「コミュニケーションマーク」を制定し、平成 30 年 4 月からを使用することになりました。



明星大学と初めて出会った人がひと目で「めいせい」と読める。—。そのようなマークが今までありませんでした。さまざまな場面でひとりでも多くの人に明星大学を知ってほしい、そして明星大学にかかわるすべての人々の思いをつなぎたいという思いから、コミュニケーションマークは生まれました。

新しくできたこのマークは、本学のアイデンティティと校名の読み方を視覚的に表現することによって構成されています。

平成 29 年度は、本学の教育目標・教育方針の実現を図るため、以下の事業について特に注力して教育研究活動を展開しました。各事業の取り組み状況は次のとおりです。

## 1) 「教育の明星大学」に相応しい教育体制の整備

### (1) 就職率向上に向けた就職指導の実施【重点事業①】

本学は、学生が納得できる就職を実現させるため、就職率向上に向けた就職指導の充実に取り組んでいます。平成 29 年度は、選抜型で行うプロジェクト型の有力企業対策や、企業との接触機会の拡大、新たな業種・目的別の講座・ガイダンスの開講、また、多摩地区の企業等との連携事業を強化しました。さらに、同窓生による就職指導の支援を受ける仕組みをつくり、学生の就職状況の情報共有を目的とした各学部学科との連携強化等、就職支援に係る各種施策を実施しました。

	(平成 28 年度)		(平成 29 年度)
・進路決定率	84.6%	→	86.5%
・上場企業決定率	18.6%	→	20.9%
・求人件数	6,947 件	→	6,833 件



本学は、学生が納得する進路を実現させるため、毎年、数多くのセミナーや説明会等を実施しており、これらの施策により、学生の就業意識が醸成され、年々卒業生の就職率・進路決定率は上昇しています。本学は、引き続き教育目標達成のため、学生の就職活動の支援体制を強化していきます。

(平成 29 年度に行われたキャリアガイダンスの様子)

### (2) 教員採用試験合格率向上に向けた取組の実施【重点事業②】

本学は、本学の強みである教員採用試験の実績の更なる向上に向けた取り組みを推進しています。平成 29 年度は、近年の教員採用試験結果の分析に基づき、本学オリジナルの教員採用試験対策講座、特に 2 次試験対策として小中学校の校長を経験した実務家



教員による個別指導等を行った結果、前年度を下回るものの、安定した実績として 84 人の教員採用試験合格者を輩出することができました。また、教員採用試験対策の一環として、早期に学生の基礎力を養成するため、低学年からマナー講座や国語力養成講座等の各種講座を展開しました。

	(平成 28 年度)		(平成 29 年度)
・ 公立学校教員採用試験合格者数	116 人	→	84 人

- ※ 卒業生及び通信教育課程の学生を含んでおりません。
- ※ 全国の都道府県・政令指定都市で実施する公立学校教員採用試験の合格者数であり、校種・教科等は問いません。
- ※ 期限付任用を除きます。

## 2) 多摩地区を中心とする地域連携事業の推進

本学は、多摩地区にある大学として、平成 27 年度に設置した「地域交流センター」を中心に、大学と地域の交流を活発化させるとともに多摩地区の活性化に寄与するための取り組みを推進しています。平成 29 年度は、読売新聞立川支局との共催による連続市民講座（全 10 回）を開催しました。また、日野市との包括協定に基づき推進している、日野市及び UR 都市機構との連携事業として、高幡台団地の活性化を目的とした学生によるシェアハウスを本格的に展開しました。

現在のところ、日野市及び八王子市と協定を締結し、様々な地域連携事業を通して、大学の人材・知財を積極的に提供しています。引き続き、高等教育機関として社会の期待に応えられる魅力ある大学を目指し、キャンパスがある多摩地域の自治体や企業と連携した事業を推進します。



読売新聞立川支局との共催による連続市民講座は、同支局が地域の読者への還元を目的として平成 17 年度から開催されています。講座は多摩地域の大学と年度ごとに連携して実施され、本学での開催は初めてとなりました。全 10 回の講座では本学の教員が講師を務め、延べ 4,091 人の受講者に学習の機会を提供することができました。（講座の様子）

## 3) 多様なニーズ（国際化／通信教育）に応える修学環境の充実

### (1) グローバル化の推進

本学は、グローバル化の促進に向け、さまざまな施策を実施しています。平成 29 年度は、海外学術交流提携校や在日日本語学校との連携の強化、本学教員の海外派遣、入学試験の出願資格に係る日本語能力の見直し等、留学生受け入れに係る取り組みを強化しました。また、外国人留学生への支援として、日本語記述力講座やリメディアル授業の実施による日本語学習の支援、留学生交流会や日本文化体験イベント等、個々の学生のニーズ

に即した支援を行いました。

在学生への支援については、海外留学の推進や TOEIC 対策講座の新設等、学生の語学力向上のための取り組み実施することにより、多様な文化・価値観に接し、学生の内的成長を促す事業を推進しました。

	(平成 28 年度)	(平成 29 年度)
・海外学術交流提携校数	45 校	→ 44 校
・留学生数【前期/後期】	48 人/47 人	→ 44 人/44 人
・認定留学派遣学生数【通年/前期/後期】	13 人/10 人/16 人	→ 10 人/4 人/9 人

## (2) 次世代に向けた通信教育体制の構築

本学は、本学の強みの一つである通信教育において、時代に即した通信教育体制の構築に取り組んでいます。平成 29 年度は、学生満足度の向上を図るため、入学希望者向け「入学コース診断システム」、学修支援システム「Star Web」におけるスマートフォン対応化を行う等、ICT を活用した取り組みを推進しました。

募集活動においては、Web 広告や雑誌への出稿を通じて本学通信教育部の知名度向上に努め、また、都道府県の教育委員会等との情報交換を通じて、現職教員等を対象に保育士資格の取得や特別支援学校の取得が可能となる科目等履修生の受け入れに関する広報を積極的に展開しました。

	(平成 28 年度)	(平成 29 年度)
・通信教育部入学者数（正科生・科目等履修生）	3,553 人	→ 3,362 人

## 4) 学生支援体制の充実

### (1) 学生の早期自立に向けた修学支援活動の充実【重点事業③】

本学は、学生の社会的・職業的な能力を養成するため、正課授業科目と有機的な連携を図りながら、正課外にて行われる各種講座の体系化と強化に取り組んでいます。平成 29 年度は、就職活動や海外留学に資する TOEIC 講座（チャレンジコース・アドバンスコース）を充実させました。さらに、正課外における学習の場として、ICT 環境を備えたラーニング・コモンズ※や、グループ及び個人それぞれで活用できる図書館内の学習スペースを整備し、学生の主体的学習を環境面から支援しています。

また、学生が社会に対して学習成果を明示できる資格の取得を促進することを目的として、新たに「明星大学資格取得奨励奨学金制度」を導入しました。

※ラーニング・コモンズとは「複数の学生が集まって自学自習するための共有スペース」の総称です。

### (2) 学業不振者減少へ向けた個別指導の実施【重点事業④】

本学は、様々な課題やニーズを抱えた学生を組織的に支えていくため、学生個々のニーズに基づく個別指導の強化に取り組んでいます。平成 29 年度は、学生の個別ニーズ

を各学部学科において把握することを目的として、まず学業不振に悩む学生に対して、全ての学部学科で個別面談を実施しました。個別面談後は面談内容の記録を保存することで、引き続き個別指導に役立てることが出来る体制を整備しました。

	(平成 28 年度)		(平成 29 年度)
・ 離籍率	4.9%	→	4.1%

## 5) 自己点検・評価活動の推進と情報公開体制の充実

### (1) 志願者増加へ向けた現状分析と教育研究活動の積極的発信【重点事業⑤】

本学は、アドミッションポリシーに沿った目的意識の高い志願者獲得に向けた募集広報のあり方や入試方法の改善に取り組んでいます。平成 29 年度は、受験生や高校・予備校の進路指導担当者に対して「教育の明星大学」や学部学科が行う「体験教育」等の特色をアピールするために、大学案内を刷新するとともに、受験雑誌や進学情報サイト等への積極的な出稿、学部学科別の DM 発送等、学生募集活動を積極的に展開しました。さらに、平成 28 年度の学生募集活動の評価、分析に基づき、オープンキャンパスの充実、多摩地域を中心とした高校・予備校を積極的に訪問し、高校生接触者数の拡大を図りました。

入試制度については、目的別に分類された複数の学科に関して併願出願が可能な併願制度を導入しています。

	(平成 28 年度)		(平成 29 年度)
・ 志願者数 (一般・センター利用入試) ※ スカラシップ制度含みます。	16,917 人	→	19,851 人
・ 高校生接触者数	50,933 人	→	52,212 人
・ オープンキャンパス参加者数	13,088 人	→	14,337 人
・ 高等学校訪問数 (延べ)	937 校	→	576 校
	(平成 29 年度)		(平成 30 年度)
・ 入学者数	2,148 人	→	2,126 人



本学は、受験生や保護者に対し本学への理解向上を目的に、オープンキャンパスを実施しています。オープンキャンパスでは、本学の学生が中心となって、様々なイベントの企画立案から実行までを担っており、受験生や保護者から好評を得ています。

(平成 29 年度に行われたオープンキャンパスの様子)

## 6) 研究支援体制の充実による外部資金獲得額の拡大

本学は、研究支援体制の充実による外部資金獲得額の拡大に取り組んでいます。平成 29 年度は、教育活動の基礎となる研究活動の活性化を図るため、科学研究費を含む外部資金

獲得に資する URA の配置や、学内競争資金である「重点支援研究費」の配分など、教員の研究活動に対する支援体制を充実させました。

	(平成 28 年度)	(平成 29 年度)
・科学研究費獲得額	85,960 千円	→ 76,700 千円

#### **7) 大学運営基盤確立に向けた組織改革・業務改善の推進**

本学は、大学が将来に亘って発展できるよう、大学運営基盤確立に向けた組織改革・業務改革に取り組んでいます。

組織改革では、本学のビジョンとそれを達成するための中期・単年度事業計画及び点検・評価活動に定めた施策の着実な推進を目的として設置された、学長をリーダーとする教職協働による全学的な取り組みとしての「MI21 プロジェクト」が新たにスタートしました。また、業務改善としては、「仕事を通じて自分を育て、人を育てる職場環境」を基盤に、長期的視野に立った体系的・継続的な職員育成を行っており、平成 29 年度は、事務局各課の課長が取り入れる OJT の他に、他大学との合同研修、職位や経験年数に応じた職員研修を実施しました。

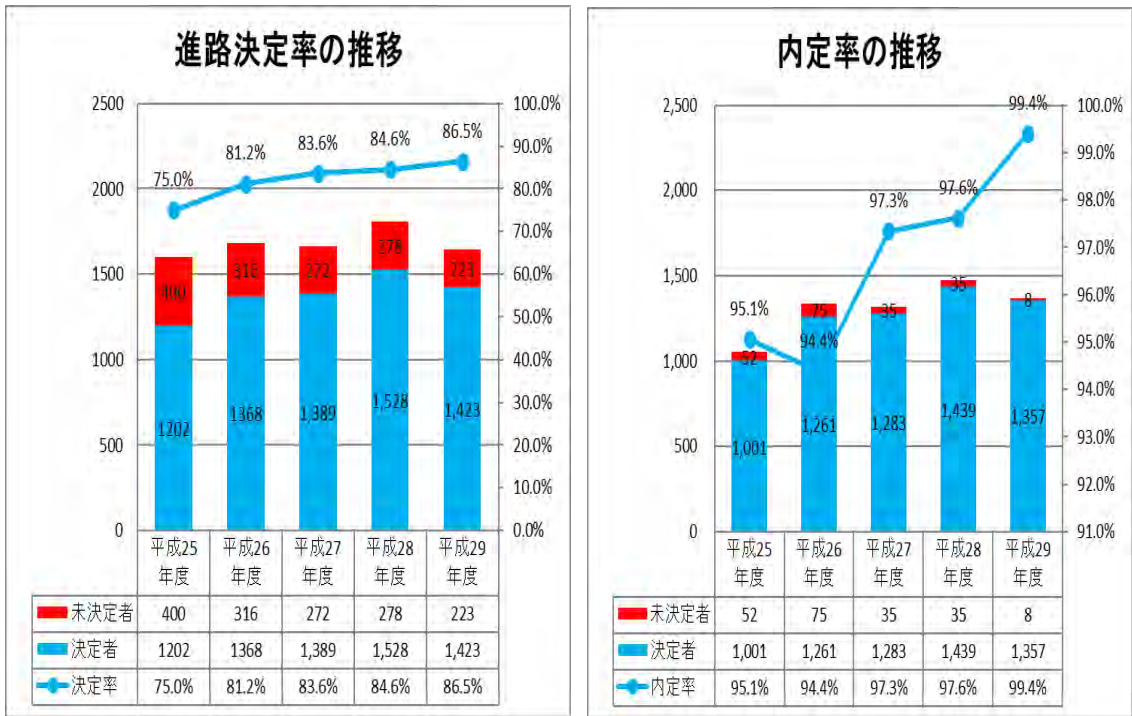
#### **8) 施設設備の充実**

本学は、教育研究環境整備に関する方針や計画に基づいて、施設・設備の充実に努めています。平成 29 年度は、学生の利便性の向上を図ることを目的として、利用頻度の高い部署を集約する整備を行ないました。

明星大学 ロードマップ  
平成 25 年度～平成 29 年度 経年推移表

- ・ロードマップ (1) 進路決定率
- ・ロードマップ (2) 志願者数 (一般・センター試験)
- ・ロードマップ (3) 離籍率 (留年率)
- ・ロードマップ (4) 教員採用試験合格者数 (公立学校)
- ・ロードマップ (5) 経常収支差額

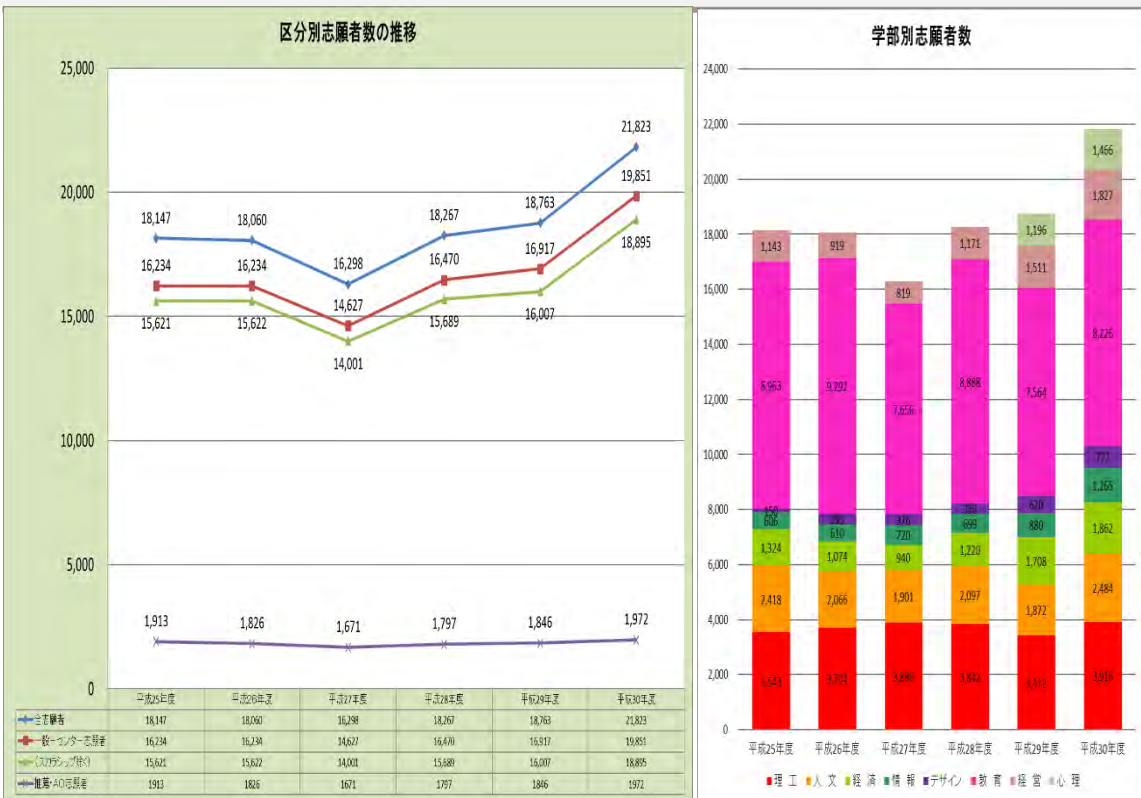
## ロードマップ (1) 進路決定率



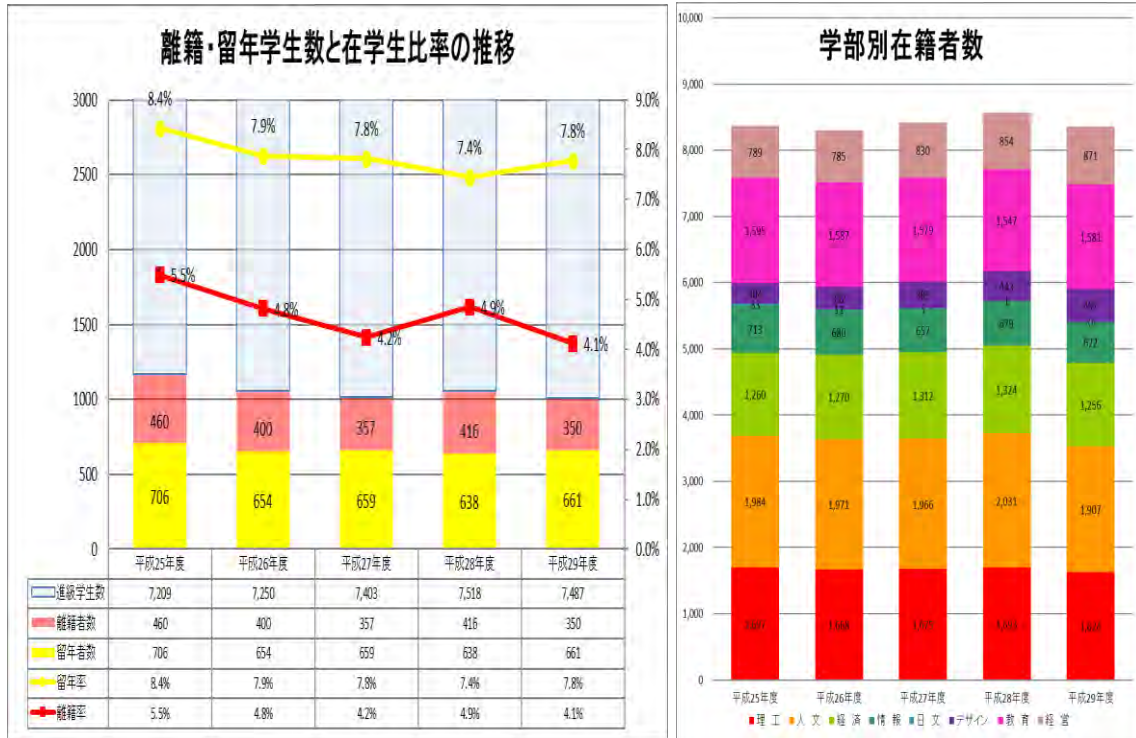
※進路決定率＝進路決定者数／卒業生数

※内定率＝就職決定者数／就職希望者数

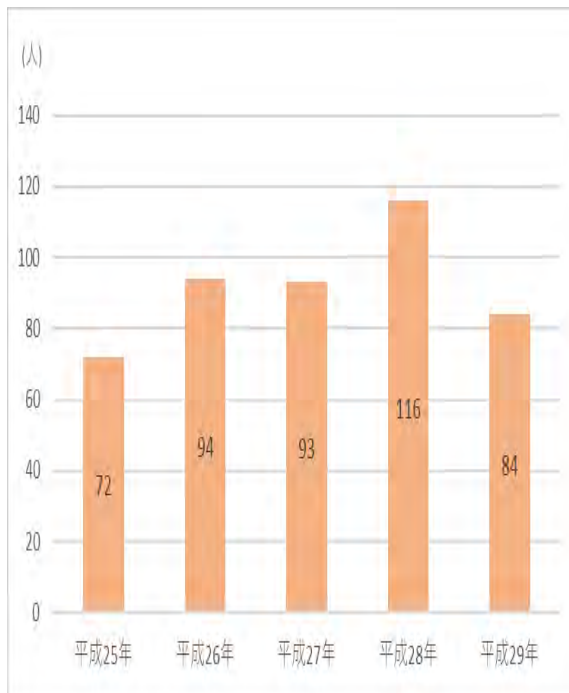
## ロードマップ (2) 志願者数 (一般・センター試験)



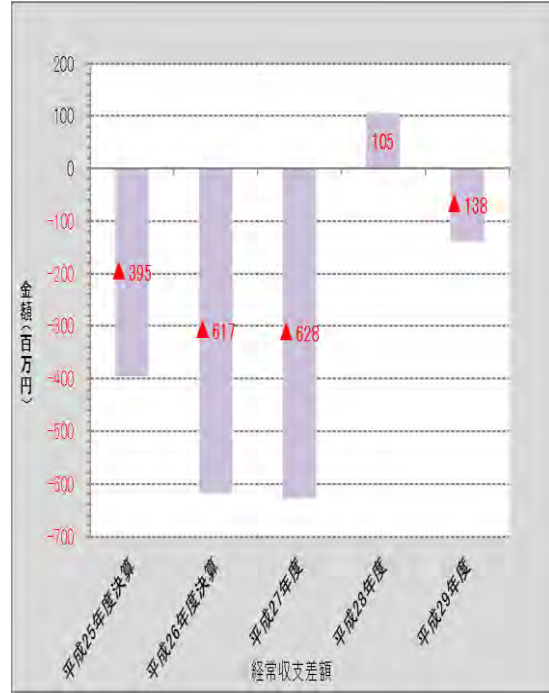
## ロードマップ (3) 離籍率 (留年率)



## ロードマップ (4) 教員採用試験合格者数 (公立学校)



## ロードマップ (5) 経常収支差額



## 卒業生の進路・就職状況

### ■明星大学

#### 1. 就職・進学状況等

平成29年度学部卒業生数は、1,646名（9月卒業生を含む）でした。その内大学院等進学者が66名、就職希望者は1,365名。就職決定者数は1,357名で就職率は82.4%、内定率は99.4%でした。

#### 2. 卒業・修了、学位授与数等の状況

学部学科等		学位授与者数	
学部	理工学部	総合理工学科	316
		化学科	0
		環境システム学科	0
		計	316
	人文学部	国際コミュニケーション学科	101
		人間社会学科	68
		心理学科	90
		日本文化学科	77
		福祉実践学科	55
		計	391
	経済学部	経済学科	239
		経営学科	2
		計	241
	情報学部	情報学科	88
		計	88
	教育学部	教育学科	351
		計	351
	造形芸術学部	造形芸術学科	8
		計	8
	経営学部	経営学科	161
計		161	
デザイン学部	デザイン学科	90	
	計	90	
学部 合計		1,646	
大学院	理工学研究科	物理学専攻博士前期課程	0
		物理学専攻博士後期課程	0
		化学専攻博士前期課程	14
		化学専攻博士後期課程	0
		機械工学専攻博士前期課程	1
		機械工学専攻博士後期課程	0
		電気工学専攻博士前期課程	2
		電気工学専攻博士後期課程	0
		建築・建設工学専攻博士前期課程	0
		建築・建設工学専攻博士後期課程	0



	環境システム学専攻博士前期課程	4
	環境システム学専攻博士後期課程	0
	計	21
人文学研究科	英米文学専攻博士前期課程	7
	英米文学専攻博士後期課程	0
	社会学専攻博士前期課程	1
	社会学専攻博士後期課程	0
	心理学専攻博士前期課程	8
	心理学専攻博士後期課程	1
	教育学専攻博士前期課程	0
	教育学専攻博士後期課程	0
	計	17
経済学研究科	応用経済学専攻修士課程	1
	計	1
情報学研究科	情報学専攻博士前期課程	0
	情報学専攻博士後期課程	0
	計	0
教育学研究科	教育学専攻博士前期課程	0
	教育学専攻博士後期課程	0
	計	0
大学院 合計		39
学部・大学院 総計		1,685

### 3. 主な内定企業先（平成 29 年度）

（理工）東日本旅客鉄道（株）、トヨタ自動車東日本(株)、日産自動車（株）、東京ガス（株）、日本瓦斯（株）、（株）きんでん、春秋航空日本（株）、株）フジマック、（株）タチエス、（株）日立ビルシステム、戸田建設（株）、（株）関電工、（株）弘電社、日本電設工業（株）、（財）関東電気保安協会、大和ハウス工業（株）、大東建託（株）、（株）レオパレス 21、東亜建設工業（株）、東鉄工業（株）、日信工業（株）、京王建設（株）、西武建設（株）、（株）江東微生物研究所、（株）タケエイ、富士電機（株）、東光電気工事、（株）協和日成、（株）鹿島建物総合管理（株）、（株）丸運、アクセンチュア（株）、（株）システナ、みずほオペレーションサービス（株）、（株）ホギメディカル、アルフレッサ（株）、（株）富士薬品、三星化学工業(株)、ネオ製薬(株)、（株）ゆうちょ銀行、中央労働金庫、農業協同組合、埼玉県教育委員会、町田市役所、国分寺市役所、警視庁など

（人文）（株）みずほ銀行、日本生命保険相互会社、明治安田生命保健相互会社、城南信用金庫、多摩信用金庫、（株）エイチ・アイ・エス、（株）ローソン、（株）伊藤園、（株）タカラトミー、相模鉄道（株）、鴻池運輸（株）、（株）大塚商会、（株）マイナビ、イオンリテール（株）、大和ハウス工業（株）、（株）アダストリア、（株）コメリ、わらべや日洋（株）、コネクシ

- オ(株)、(社)東京都同胞援護会、(社)横浜市社会事業協会、SOMP  
 Oケアメッセージ(株)、農業協同組合、東京都教育委員会、栃木県教育  
 委員会、東京都庁、水戸市役所など
- (経済) みずほ証券(株)、丸三証券(株)、多摩信用金庫、西武信用金庫、青梅信  
 用金庫、日本郵便(株)、(株)伊藤園、文化シヤッター(株)、日本瓦斯  
 (株)、(株)ENEOSフロンティア、(株)レンタルのニッケン、三菱  
 商事ロジスティクス(株)、(株)小田急リゾート、(株)ENEOSウイ  
 ング、西日本電信電話(株)、(株)NTT東日本-南関東、(株)タカラレー  
 ベン、旭情報サービス(株)、(株)マルエツ、(株)スーパーアルプス、  
 農業共同組合、川崎市役所、警視庁など
- (情報) トランスコスモス(株)、(株)四電工、旭情報サービス(株)、アンドー  
 ル(株)、(株)テクノ・セブン、(株)NTTファシリティーズ中央、リ  
 コージャパン(株)、ヤマトシステム開発(株)、SETソフトウェア  
 (株)、愛知産業(株)、日本情報産業(株)、明電システムソリューショ  
 ン(株)など
- (教育) 公立小学校教諭、公立中学校教諭、公立特別支援学校教諭、公立保育園、  
 私立幼稚園、(株)三井住友銀行、(株)りそな銀行、日本郵政(株)、(株)赤  
 ちゃん本舗、神奈川県庁など
- (経営) (株)三菱東京UFJ銀行、住友林業(株)、(株)セブン-イレブン・ジャパ  
 ン、鴻池運輸(株)、(株)すかいらく、(株)東京會館、西武信用金  
 庫、青梅信用金庫、(株)小田急リゾート、(株)AOKI、ネットヨタ  
 多摩(株)、安全自動車(株)、(株)東急ストア、(株)京王ストア、  
 (株)オザム、旭化成リフォーム(株)、(株)大塚商会、昭和電工ガスブ  
 ロダクツ(株)、農業協同組合、浦幌町役場など
- (デザイン) (株)ベネッセコーポレーション、(株)IMAGICA、(株)セガ  
 ゲームス、東宝舞台(株)、(株)ニトリ、(株)ローソン、(株)セディ  
 ナ、(株)ドンキ・ホーテ、ディップ(株)、(株)サイネックス、(株)ハ  
 ローズ、(株)ストライプインターナショナル、(株)ヴァンドームヤマ  
 ダ、東洋美術印刷(株)、東大和市役所など
- (心理) (株)三菱東京UFJ銀行、(株)ゆうちょ銀行、(株)広島銀行、(株)秋田銀行、  
 (株)東和銀行、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、多摩信用金庫、西武  
 信用金庫、日本瓦斯(株)、横浜冷凍(株)、鹿島建物総合管理(株)、京  
 王観光(株)、(株)小田急リゾート、ディップ(株)、(株)東急ストア、  
 (株)コメリ、(財)聖路加国際病院など

## ■明星中学校・高等学校

### 1. 中学校卒業者の進学状況

平成 29 年度中学校卒業生総数 114 名でした。そのうち、明星高等学校進学者は 95 名、他校進学者は 19 名でした。

### 2. 高等学校卒業者の進学状況

平成 29 年度高等学校卒業生総数 326 名でした。そのうち、4 年制大学現役進学者は 254 名、短期大学進学者は 7 名、専門学校進学者は 20 名、進学準備他は 45 名でした。

### 3. 主な合格実績大学（平成 29 年度卒業生）

（国公立）東北大学、筑波大学、富山大学、鹿児島大学、首都大学東京、ほこだて未来大学

（私立）早稲田大学、学習院大学、明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学、国際基督教大学、東京薬科大学、昭和薬科大学、関西学院大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、工学院大学、東京電気大学、東京都市大学、東京農業大学、國學院大學、成蹊大学、成城大学、武蔵大学、明治学院大学、大東文化大学、東海大学、亜細亜大学、帝京大学、国土舘大学、明星大学、桜美林大学、日本女子大学、大妻女子大学、学習院女子大学、昭和女子大学、白百合女子大学、聖心女子大学、玉川大学、東京経済大学、他

## ■明星小学校

平成 29 年度卒業児童総数 89 名でした。そのうち、明星中学校進学者は 57 名（男子 26 名、女子 31 名、うち MGS コースは男子 10 名、女子 8 名）、他校進学者は 32 名（私立中学校 24 名、公立 8 名）でした。

## ■明星幼稚園

平成 29 年度卒業園児総数 94 名でした。そのうち、明星小学校進学者は 24 名、他校進学者は 70 名でした。